

【果樹】の【低温】対策について

<5月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【完熟きんかん】

(1) 予想される被害状況

新梢の生育遅れに伴う緑化の遅れ。

(2) 事前対策

- ① 内カーテンや内サイドのある施設では、夜間被覆を実施して保温するとともに、特に低温になる中山間地域では10℃程度で加温を行う。
- ② 昼間の温度が低い場合は、サイドを下ろして換気開始温度を25℃程度に設定することで昼間の温度を確保する。

(3) 事後対策

葉面散布を実施し、新梢の緑化を図る。

【日向夏】

(1) 予想される被害状況

花や幼果の低温被害による収量の減少。
結果量が少ないことによる新梢への養分収奪に伴う生理落果。

(2) 事後対策

- ① 残った花に対して人工受粉の徹底を図り、結果量の確保に努める。
- ② 開花や結果の見られない枝は人工受粉時に分岐部から除去し、養分の収奪を防ぐ。